

カー効果顕微鏡 (磁区観察装置)

動画観察可能

全景



機種名

ネオアーク社 BH-762PI-MAE
2017年度購入

特徴

カー効果顕微鏡は、磁性材料の磁気特性と密接な関係がある“磁区構造”を観察する顕微鏡です。面内・垂直方向の磁場を変化させながら、被測定物に生じる磁区構造と磁区の境界にある磁壁の動きを観察することができる装置です。

●用途

磁性体の磁区構造観察

- ・面内磁場印加
- ・垂直磁場印加
- ・静止画観察
- ・磁場変化時の動画観察

【倍率と観察可能サイズ】

- ・最大倍率：3,000倍(総合倍率として)
- ・対物レンズ：5倍, 10倍, 20倍, 50倍(4種類)
- ・観察視野：約 $107 \times 80 \mu\text{m}$ (50倍対物レンズ使用時)

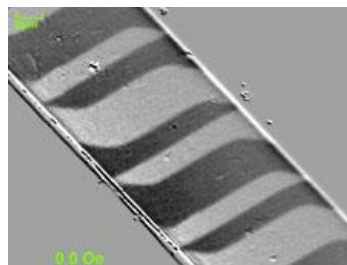
【面内磁場条件】

- ・最大発生磁場： $\pm 2.5 \text{ kOe}$
- ・磁場制御方式：ホールセンサによるフィードバック制御
- ・磁極間間隔：30 mm

【垂直磁場条件】

- ・最大発生磁場： $\pm 5 \text{ kOe}$
- ・磁場制御方式：ホールセンサによるフィードバック制御
- ・磁極間間隔：15 mm

観察サンプル



Co系軟磁性薄膜の磁区

料金等

機器使用： 1,100 円 / 時間
 操作法説明： 3,900 円 / 時間
 (説明は、1時間程度かかります)

研究員による支援

サンプル洗浄等前処理

3,900 円 / 時 + 機器使用料

<実施例>

- ・溶剤洗浄
 - ・純水洗浄
- (いずれも、クリーンルーム内での超音波洗浄が可能)